

11 / 家族や自身の身を守る

12 安全機能付き自動車試乗会

1 1月12日（火）町民会館駐車場で沼田町交通安全協会（小泉清彦会長）が主催する「安全機能付き自動車サポカー体験イベント」が今回初めて開催されました。

高齢者ドライバーによる大事故や免許制度のあり方等が取り沙汰されるなか、自身や同乗者を重大な事故から守る安全機能として自動ブレーキが搭載されたサポートカーに乗車した参加者は、自動ブレーキがかかる際の急ブレーキの衝撃に驚きながらも、障害物の前でしっかり停車する安全機能に関心を寄せていました。



11 / 災害対策を考える

13 災害時要援護者支援にかかわる専門職等研修会

1 1月13日（水）ふれあいで深川保健所の保健師を講師として招き、「災害時要援護者支援にかかわる専門職等研修会」が行われ、沼田町内の福祉関係者約50名が参加しました。

本研修会は、昨年9月に発生した胆振東部地震を受けて沼田町でも災害対策を講じながらも、年月の経過とともに薄れる意識の向上を図るために行われました。深川保健所の保健師である松岡美保子係長は胆振東部地震での支援活動の経験から、平常時での事前準備の必要性を話しました。参加者は研修会を通して福祉の視点からの災害弱者への対応や備え等を見直すきっかけとなりました。



11 / 子どもたちのために

14 町長・教育委員・PTA 連合会役員との懇談会開催

1 1月14日（木）ゆめつくるで町長・教育委員・PTA連合会役員との懇談会が開かれました。

事故が発生しやすい道路への危険防止、不審者対策等のための防犯カメラ設置等の通学路の安全対策や子どもたちのコミュニケーション能力の発達を促すための人との交流の場作りについて等、盛んな意見交換ができた懇談会となりました。



11/16 昔話に花が咲く 東京沼田会総会・懇親会

1月16日（土）東京都千代田区市ヶ谷で第31回東京沼田会（田坂勝芳会長）総会が開催され、本町から横山町長、小峯議長、吉住商工会長、岡田土地改良区理事長、黒田北いぶき農協代表専務理事が出席しました。

東京沼田会は在京を中心とした沼田町ゆかりの方々交流を深めるため、平成元年に設立され会員相互の親睦や沼田町の応援団として、ふるさと沼田町の発展に尽力いただいています。総会後の懇親会では、沼田町の思い出話や近況の話題で和やかな懇親会となりました。



11/20 おめでとうございます 沼田町商工優良従業員表彰式

1月20日（水）観光情報プラザで沼田町商工会（吉住淳男会長）主催の優良従業員表彰式が行われ、3事業所計4名が表彰されました。吉住淳男商工会長から「雇用情勢が厳しい中、雇用者と被雇用者が協力して地域、経済を守っていただきたい」と挨拶があり、表彰状と記念品の贈呈が行われました。

横山町長は「長い間のご活躍、町の経済発展に尽力したことに感謝しております」と述べ、特に模範的な従業員として渡部建設株式会社の山崎静雄氏へ沼田町長表彰が渡されました。山崎静雄氏は「身に余る光栄で仕事をする上で大きな励みとなります」と受賞者を代表して挨拶されました。



11/25 北海道知事感謝状が贈られました 平木昭良氏に感謝状贈呈

1月25日（月）長年の統計調査員としての功績に対し、平木昭良氏（南町）に北海道知事からの感謝状が贈られ、横山町長から感謝状の伝達が行われました。

平木氏は「長い間役場に勤め、お世話になった町のために恩返しとしてやってきました。感謝状をいただき光栄です」と話されていました。



11/25 沼田農業の未来のために 空知管内 JA 青年部海外視察研修報告

1月25日（月）JA北いぶき青年部沼田支部の岩淵佑介氏（仲町西）が、アメリカ西海岸での海外視察研修の報告に来庁されました。

研修には空知管内 JA 青年部の約20名が参加し、ドローンを使用した作物の管理や観光型農業として収穫体験などを行っている農場を見学し、海外の大規模経営の実態や営農技術を現地で学びました。岩淵氏は「観光型農業を見て、沼田町を盛り上げるためにも農業の観光化を進めていきたい」と話し、報告を受けた横山町長は「今回の貴重な体験や経験を沼田の農業に活かしてほしい」と激励しました。



11/30 準優勝おめでとう！ 沼田町教育長杯小学生バレーボール大会

1月30日（土）町民体育館で沼田町教育長杯小学生バレーボール大会が行われました。

大会には北空知の各市町から6チームが参加し、熱戦が繰り広げられ、地元開催での優勝を狙う沼田リトルポプラは予選を勝ち抜き、決勝戦では3セット目までもつれた接戦となりましたが、惜しくも深川白樺に敗れ、準優勝となりました。



12/1 素敵な音色を奏でました ファミリーコンサート開催

12月1日（日）ゆめっくるでファミリーコンサート（同実行委員会主催）が開催されました。

沼田町芸術文化普及促進事業として、沼田小学校スクールバンド、沼田中学校吹奏楽部、沼田吹ガールズ、N-link. が音楽やダンス等を披露し、会場は多くの来場者の拍手で包まれました。



12/4 今年の味は？ 3町うまいっしょグランプリ

12月4日（水）沼田町・雨竜町・北竜町の3町とJA北いぶき、JAきたそらちで組織する3町営農改善推進協議会（横山茂会長）が「3町うまいっしょグランプリ」を沼田町で開催しました。米とそばの栽培が盛んな3町それぞれで1番おいしい町を決定するもので、今回で3度目の開催となります。同条件で用意されたごはんとそばを食べ比べ、投票が行われた結果、沼田町はどちらも僅差で2位となりました。横山町長は「この取り組みがさらなる農業の発展に繋がるよう願っています」と話されていました。



12/6 農作物への被害を防ぐために 有害鳥獣被害防止研修会

12月6日（金）ふれあい会議室でNPO法人ファームングサポート北海道代表理事の原田勝男氏を講師として招き、有害鳥獣駆除研修会が行われ、町内の有害鳥獣対策委員や罨免許を保有する農家の方々約30名が参加しました。

原田氏は「年々増加する有害鳥獣を町民が主体となって駆除しないと農作物の被害が増える一方」と話し、有害鳥獣による農業の危機を訴えるとともに安全に配慮した駆除方法を紹介しました。



寄附

沼田ライオンズクラブが寄附

12月7日（土）沼田ライオンズクラブ（高橋節男会長）が赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金へ寄附が行われ、高橋会長は「社会のために役立ててもらいたい」と話されていました。



宝くじの助成金で 太鼓の購入・修繕

沼田夜高太鼓（原稔会長）では、宝くじの助成金で太鼓を購入しました。この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているものです。沼田夜高太鼓は今後も各種イベントに参加し、地域の活性化に取り組みます。

また、この太鼓は貸出も行いますので、ご希望の方は下記へお問合せください。

■お問合せ 沼田夜高太鼓 会長 原 稔
☎35-2007



まちづくりの視点からみた 鉄道を考えるシンポジウム

11月24日（日）ゆめっくるで「まちづくりの視点からみた鉄道を考えるシンポジウム」を沼田町と町観光協会の共催により開催し、町内外から約80名が参加しました。

JR 留萌本線の廃止方針が示される中、存続させ活性化につなげようと開催された本イベントは、株式会社日本旅行北海道の永山茂地方創生推進室渉外部長を招き、「**まちの魅力・潜在力を活かしたまちづくりと地域交通**」と題し、道南いさりび鉄道の観光列車「ながまれ海峡号」等の取り込みを例に講演を行いました。



▲永山茂地方創生推進室渉外部長



▲シンポジウム開催の様子

「知恵と情熱と地域の人とのコミュニケーションでまだまだ活性化できる」と永山氏は鉄道の可能性を話し、道南いさりび鉄道の観光列車「ながまれ海峡号」を運営するにあたり、「はじめは地域住民の方々から理解を得られなかったが幾度の話し合いの末に協力を得られ、実際に運行が始まると、多くの人に来てもらおうと沿線の皆さんが率先してお客様におもてなしをした」と地域住民が一丸となって、沿線で海産物を焼いて乗客にふるまったり、駅をきれいにしようと掃除や花を飾った当時の写真を交えて紹介しました。



後半に行われたパネルディスカッションでは、横山町長は「鉄路存続というより地域の存続という視点で考えていかなければならない」と町外からの観光客を呼び込み、鉄道の利用につなげ、さらには地域農産物の輸送手段として鉄道を利用する等、鉄路の活用策を話しました。

観光協会の吉住淳男会長は、「継ぎ目のない公共交通サービスを構築し、過疎地域におけるスマートモビリティ等の議論もしていきたい」と話し、広域連携の重要性を話しました。



今回のために沼田町 JR 留萌本線対策室が「JR に乗り続け隊」のマークを作成。このマークには、町全体で JR を応援する意味が込められており、存続イベント関連で随時使用していきます。